

事業報告書

社会福祉法人 たいむ共生会

埼玉県久喜市下清久 686-4 B101

第5期

(自) 令和 6年 4月 1日

(至) 令和 7年 3月 31日



社会福祉法人
たいむ共生会

1. 令和 6 年度 法人運営総括

令和 2 年 2 月 25 日の『社会福祉法人たいむ共生会』設立から早いもので 5 年が経過しました。

令和 6 年度の決算につきましては、事業活動計算書におけるサービス活動収益合計は約 364 百万円と前年度より約 35 百万円上回る結果となりました。また、サービス活動費用合計も約 348 百万円となり前年度から約 14 百万円の増加、サービス活動増減差額 約 16 百万円、経常増減差額 約 15 百万円の黒字となりました。

黒字の要因としましては、令和 6 年度に 3 年に 1 度の報酬改定があり、放課後等デイサービスにおいて基本報酬の改定や児童指導員等加配加算・専門的支援加算が取得できるようになったことによる収入増加が大きかったです。また、そのような加算が取れるには、放課後等児童デイの経験年数が関係するので、古くから放課後等デイサービスを続けてきた職員が長きにわたり辞めずに勤務してきたことが大きな要因でもあります。

しかしながら、障害福祉サービスでは土曜・日曜は利用の需要があるにも関わらず、人手不足でお断りをしなければならない現状は、未だ解消されていませんが、令和 6 年度は、求人媒体も有料にして広げたため正社員の雇用に繋がりました。引き続き、人材雇用・育成にも工夫をしながら募集をかけていきたいと思っています。

また「福祉・介護職員等処遇改善加算」が一本化されることにより事務的な手続きがやりやすくなり、職員の給与アップは、就業意欲向上になったと思います。

コロナ禍と呼ばれる状況からは落ち着いてきましたが、施設には依然として感染症リスクが存在し、また、いつ起こるかわからない大規模災害リスクも存在します。これらの施設運営に関するリスクに対して、事業継続計画(BCP:Business Continuity Plan)の策定が以前から求められてきました。しかし、今回の改定では、これをさらに徹底するため、感染症もしくは災害に関する業務継続計画が未策定の場合には、基本報酬が減算されることとなりました。なので、各事業所は、BCP を策定し、合わせて訓練・研修などにも重点を置きました。忙しい支援業務の合間に時間を作らなければならないので、令和 7 年度は、1 年間の予定を立てて実施していくことにしました。

グループホーム等においては、地域連携推進会議を設置し、地域の関係者を含む外部の目を定期的に入れる取組を令和 6 年度は、努力義務であったのですが、残念ながらできませんでした。令和 7 年度には、義務化されるので取り組みたいと思います。また、重度の方が多いホームでは、夜勤をできる方が現在高齢でもありますし、重度支援のできる方が限られているので、増やして行くことが直近の課題です。

最後に、法人本部および4つの児童発達支援・放課後等デイサービスの埼玉県実地指導が12月に、久喜市の生活サポート実地指導が2月にありましたが、すべて「指導事項なし」の評価を頂きました。これは、当法人が常日頃から法令遵守を行っている成果だと思います。

2. 令和6年度 各拠点・事業別統括

① タイム（障害福祉サービス・移動支援・生活サポート／福祉有償運送）

タイムの事業は、相変わらずの人手不足のため、土日の支援をお断りすることが続いております。逆に、平日の日中の利用枠はまだ空きがありましたので、居宅介護・身体介護・重度訪問・同行援護の利用者様を重点的に増やしてきました。移動支援と生活サポートに関しましても、土日の利用を希望される方が多いためお断りをせざるおえなかったり、移動支援から行動道援護に移った方も多かったため、全体的に収入減になりました。

本年度の成果（障害福祉サービス）

- ・管理者が1ヶ月不在だったが、職員全員が協力し、業務を遂行することができた。
- ・職員が一人増えたことにより、日常業務に余裕ができ、事務残業が軽減されている。又、多少だが平日の支援の追加も受けられるようになった。
- ・職員一人一人の事務業務の意欲・スキルが上がってきた。
- ・職員会議・パートナー会議を同時に行うことで、意見の共有・交換が出来るようになってきた。
- ・日常から、支援に関する会話が職員間で増え、支援に反映させるようになってきている。
- ・環境整備を行い、安全に支援ができるように、整理整頓に心がけている。
- ・引き続き、毎日の清掃時の消毒のおかげで感染症が発生せず、安心して支援ができた。
- ・サービス依頼書の作成は定着してきた。
- ・『利用者様に寄り添う』ために不適切な言動を聞いた時、見た時は、その場で指摘したり、話し合うようになってきている。

本年度の反省・課題（障害福祉サービス）

- ・土日支援のお断りは、減ってきているがまだゼロではない。
月1でいいので、他事業所の方にも協力してもらえるように、引き続き声をかけていく。
又、こちらも必要とされる時は、協力する。
- ・サービス依頼書の作成は定着してきたが、内容の見直しができていないものもある。
- ・監査がいつあってもいいように、書類の準備作成。
- ・新規の利用者を受けられるように、早急にサービス提供責任者を一人増やす。
- ・身体(腰等)を痛めないように、ボデイメカニクスの研修を行う。
- ・職員全員が、研修を一つは受講する。
- ・利用者様との相性もあるが、できるだけ苦手な支援と決めつけずに、どの支援とも向き合ってみる。
- ・利用者様との会話時(特に精神の利用者様)、誤解を招く言動に気をつける。よく考えてから言葉にする。

本年度の成果（移動支援）（生活サポート）

- ・職員・パートナー間のコミュニケーションを密にできたため、利用者様の状況や支援内容などの共有ができました。
- ・事務業務を分担できました。効率よく進めることができたので、残業時間の軽減につながりました。
- ・常勤パート、職員が1名ずつ増え、日常業務がスムーズになりました。
- ・他事業所の管理者と連絡を取り合い、お断りを減らすよう努力した。

本年度の反省・課題（移動支援）（生活サポート）

- ・サービス依頼書など書面作成にかかる時間がとれませんでした。
- ・土日の人員が不足していて、利用者様のご依頼にお応えできないことが多々ありました。
- ・利用者様の持ち物の紛失が目立ちました。管理をしっかりとお願いしたいです。
- ・タイムの理念でもある、「利用者様によりそう」という姿勢をパートナーさん、職員に浸透させていきたいです。

② ツリーぴあ（生活介護・地域交流）

生活介護事業所ツリーぴあは、今年度1名の利用者が入所し21名の利用者様が通っています。10年経ったツリーぴあも壁や畳の老朽化に伴い補修工事が入りました。ぴあ菜に関しては、まだまだ出来栄には、不安がありますが、コストのかかる電力を農電に変えることができました。

自家焙煎たいむは、短縮しての営業となりましたが、インターネット上の口コミ効果もあってか、新規のお客様も増えてきました。残念ながら物価高騰に伴い豆の仕入れ単価も高騰したため来年度には、珈琲豆の売値も上げざる得ない状況です。しかしながら、新規の注文に対応すべく、ツリーぴあの利用者様の力も借りながら、豆の焙煎が出来るスタッフをさらに増やしていきたいところです。

本年度の成果（ツリーぴあ）

- ・昨年度＜反省・課題＞より、スタッフの支援の底上げについては、改めて個別支援計画書の掲示・職員からのアドバイスや補助等のサポートを実施していく事で、関わりが浅かった利用者様への支援に対する意識が向上し、担当を必要とする利用者様にも入れるようになっていく事が出来てきている（継続）それに伴い、日中の間に管理者及びサビ管が事務仕事を出来る時間が増え、残業時間の軽減にも繋がってきている。
- ・強度行動障害資格の取得者が1名増えました。
- ・月2回に分けてのパート会議を実施（継続中）することで、支援の統一が図れるようになりました。
- ・衛生面や老朽化に伴い、静養室（現 和室として使用）の畳交換・館内壁修繕を行いました
- ・作業室（現 静養室として使用）を片付けて空きスペースを増やす事で、複数の体調不良者が出た場

合でも対応できるようにした。

- ・グループ化しチームリーダーを置いたことで、組織的に対応することができるようになりました。

本年度の反省・課題（ツリーぴあ）

本来、1対1支援ではないという事は事前に何回もお伝えはしていたが、配置表の自分の名前の横に記載されてる利用者様しか見ないという間違っただけの捉え方をされているスタッフがいるので、引き続き該当するスタッフが見受けられた場合には説明はしていきます

③ ケアホーム・タイムわかば／さくら（共同生活援助）

わかば棟は建設から10年を超え、外観・内装共に劣化してきた部分が随所に見受けられるようになりました。計画的な修繕計画と予算の策定と共に、施設内の環境整備や衛生管理も引き続き徹底し、安心・安全な暮らしを保っていけるよう努めます。

本年度の成果（ケアホーム）

- ・利用者様の気持ちに寄り添えるように努力した。
- ・支援員中心ではなく、利用者様中心の支援ができるようになった
- ・利用者様から、あいさつできるようになった。
- ・雰囲気明るくなった
- ・利用者様が、相手の気持ちを考えられるようになった。
- ・大きな事故や怪我もなくすごすことができた。
- ・利用者様とスタッフとのコミュニケーションが増えた。
- ・通所事業所との連携を大切にすることができた。
- ・利用者様の移動があったが、快くみなさんが受け入れてくれたので、親御様も喜んでいました。
- ・利用者様が居心地の良い環境を整えることができた。
- ・行き届いた清掃及び感染症対策(消毒)ができた。
- ・利用者様の特性にあわせた支援をしていくことができた。
- ・臨機応変に対応するように心がけるようになった。

本年度の反省・課題（ケアホーム）

- ・さくら・わかばの利用者様同士の交流をもてるように、企画する。
- ・地域の環境整備など、利用者様と参加をし、わかば/さくらを身近に感じてもらう。
- ・スタッフの育成。質の向上。
- ・新しいスタッフが入っても辞めてしまう。
- ・何かあったときに、すぐに話し合える環境づくり。

- ・スタッフの「〇〇すべきを、おしつけない」
- ・個別支援計画書に記入してある目標など、達成できるように支援していく
- ・会議で話し合いをし、実行に移すがしばらくすると、崩れてしまった。
- ・さくらとわかばの確執がなかなかとれない
- ・業務日誌を使つての「報連相」を徹底していく。
- ・利用者様の親御様の苦情や要望は速やかに対応していく

④ タイムこどもデイサービスゆっく／りずむ／かのん／めろでい（児童発達支援・放課後等デイサービス）

児童発達支援および放課後等デイサービスは、「ゆっく」「りずむ」「めろでい」「かのん」と4事業所で活動をしています。法人総括で放課後等児童デイの黒字と報告しましたが、唯一「ゆっく」に関しては、赤字の状態、その要因は人件費です。今年度は、1～3歳時の利用児が多かったのも、安全を優先のため利用児全員に指導員が1対1で対応していたこと、また職員のうち4人が正社員（1人は途中育休）のため多く費用が掛かってしまいました。来年度は、大きな課題です。

本年度の成果（ゆっく）

<午前部>

- ・コロナ禍でできなかった保護者会を開くことができた。先輩保護者様と在園児の保護者様の交流ができた。
- ・書道を学んでいる大学生がゆっくのお子さん達一人ひとり名前を書いてくれた。素敵な名前アートができた。
- ・作業療法士にアドバイスを受けながら療育ができた。

<午後部>

- ・保護者会がひらけた。先輩ママが参加できず残念脱退が、いろんな話を聞くことができた。（2月）
- ・他のデイでの行事に積極的に参加できた。
- ・天気や、利用者の体調をみて、ゆったりとした支援ができた。

本年度の反省・課題（ゆっく）

<午前部>

反省

- ・受給者証の期限の確認を忘れる事があった。

課題

- ・保護者会をもっと開催して欲しい。
- ・お子さんの体型にあった、椅子、机、チャイルドシートを揃える。

<午後部>

反省

- ・忘れ物が時々あった。

課題

- ・利用者が少ないことのあり、工夫した活動を考える。
- ・保護者会をもっと行い、いろいろな情報がほしいと要望があった。

本年度の成果（りずむ）

- ・畑作業。 昨年に続き、農作業を行った。大家さんの好意で畑を間借りすることができたため、前年度よりも多様な作物を育てることができた。収穫した成果は失敗と成功が半々。
- ・ハロウィン、クリスマス会、節分、夏祭り、卒業式等。季節ごとの行事をスタッフの方が中心となって企画し、取り組んだ。
- ・高校生たちに向けての企画。夏休みに事業所内でのプールとは別に、高校生を対象に市民プールの利用などを行った。また、卒業生達の希望で卒業旅行を企画。利用者を中心として計画を立て、実行した。
- ・定期的な会議を行い、支援計画の周知、日々の活動の情報共有を図る。それに加えて日々の活動の中での危険箇所の洗い出しを行った。

本年度の反省・課題（りずむ）

- ・市民プールの利用や卒業旅行等、高校生たちに向けての行事が多く、低学年に向けた行事がおろそかになってしまったかもしれない。
- ・夏休みの過ごし方。前年度に続き、気温が高く外出先が制限されてしまった。近隣の児童館等を利用したが、その他にも室内での過ごし方、新しい外出先を引き続き探していきたい。
- ・利用者の方に対し、数件の怪我をさせてしまった事例があった。日々の会議の中で危険箇所の洗い出しを行い、改善に努めたい。

本年度の成果（かのん）

- ・かのんの目標である会議での話し合い(忌憚のない意見交換)が今年度もでき、会議が有意義な会議になっていたと思います。
- ・前年度も「めろでい」から、「かのん」に移った利用者と新規の利用者がとても成長できました。
- ・保護者様からの質問などに対しスタッフが協力しあい問題を一つ一つ解決し、成長できました。
- ・集団の中で以前はスタッフとの関わりが多かった利用者が友達同士の関わりやコミュニケーションを以前より取れるようになったと思います。
- ・登所時には、引き続き、手洗いうがい検温を徹底し体調管理に気をつけていました。
- ・個別支援計画書の支援内容の確認、支援方針の共有を図り課題や問題点の解決にスタッフ全員で工夫しながら支援ができたと思います。

- ・欠席者が多かったですが特定の利用者様に臨時利用をしてもらいました。
- ・たいむ共生会の理念を大切に、かのんの合言葉である、誠実 団結 正義に基づき、いかなる場面でも利用者一人一人が主人公とし常に誠実に関わり、問題が起きた際はスタッフが連携し団結力を持ち立ち向かい、保護者様からの質問・苦情・要望に対しましては、一つ一つ事実確認をしっかりと取りながら慎重に誠実に対応し事実を歪める事なく「相談してよかった」と思ってもらえるよう常に正義の信念を持ち、解決し対応していき常に精錬でありたいと思います。

本年度の反省・課題（かのん）

反省：

- ・かのんに、あまり来たくないと言う利用者が出てきてしまいました。
- ・活動する場所が同じになってしまいがちでした。
- ・少し孤立してしまっている利用者への対応。
- ・欠席者が多かった。無断欠席も多かった。
- ・ショートステイ先との連携が、まったく取れていなかった。
- ・スタッフ一人一人の気持ち、わからない時があるので、もう一度丁寧に。
- ・毎日のミーティング時間に前日あった事を共有し、出られないスタッフには、今年度から（ミーティング記録ノート）を新たに作ったのでノートを見てもらい前日に起こった事や連絡事項を把握してもらい、さらなる発展につなげていきたいと思います。変わらず会議の時に入念に話し合いをし、共有していき有意義な会議になるように努めていきたいと思います。
- ・下校時間や部活動、陸上大会の練習など変則的な時にも間違いなく、お迎えに行けるよう気をつけます。日々の（当たり前）を徹底できるように頑張ります。
- ・日々の活動の幅がひろがるように工夫していきます。
- ・「かのんに行きたい」と利用者が思ってくれるように日々努力していきたいと思います。
- ・かのんに来てもみんなから離れている利用者に対して、良い対応策が見つからない。
- ・少し孤立してしまっている利用者やショートステイで自宅に帰れない子への心のケア。

本年度の成果（めろでい）

- ・昨年より支援計画に5領域（健活、運動・感覚、認知・行動、言語コミュニケーション、人間関係・社会性）を取り入れた活動をしました。特に活動の中で（遊びの会）を週に一回定着した成果として（1）子ども同士の関わりが出来るようになった（2）ルールを守って遊べるようになった（3）楽しみながら運動が出来るようになったなどが挙げられます。
- ・言語音楽療法士による「ぴんぽん」も定着し、子どもたちが楽しみながら歌や文字に関心を持ち活動が出来るようになってきました。
- ・専門支援制度を取り入れたことで共同活動だけでなく個別のニーズに合った活動が出来ました。
- ・デイ合同の夏祭りやクリスマス会だけでなく季節の行事や制作活動を行いました。

- ・めろでい会議や打ち合わせで、個別の課題や最近の様子を話し合いスタッフ間で共有してきました。
- ・地震や火災水害を想定した避難訓練を行いました。子どもたちに事前説明をしたことでスムーズに行うことができました

本年度の反省・課題（めろでい）

- ・支援計画を振り返り、スタッフ間で共有し個々のニーズに合った支援を行います。
- ・活動計画に子どもたちの意見を取り入れ主体的に取り組めるようにしていきます。
- ・一人一人の特性に応じて、自分で出来ることは見守り過度な声掛けや干渉に気をつけ本人の成長を促していきます。
- ・子どもたちの安全面、衛生面を考え安心して過ごせるよう環境を整備していきます。

⑤ タイム相談支援（計画相談支援・児童相談支援）

平成 25 年から始まった相談支援事業も開始から11 年を超え、利用者様との信頼関係が深まっているのを感じています。新規の利用者様やまだ相談を開始して間もない利用者様とも深い信頼関係が築けるよう努めてまいります。

本年度の成果（相談支援）

- ・サービス等利用計画やモニタリングを、通年通り受給者証に沿って行うことが出来た。
- ・コロナが 5 類になり規制も緩和されたが、十分な感染対策をしたので事業所内感染もなく、面談や外部のモニタリングも直接出来るようになった。
- ・新規の利用者様も増え、新しい施設を見学したり、関係施設との支援会議等、連携を深めることが出来た。
- ・定期的に利用者様と面談をしているので、信頼関係が更に深まってきている。
- ・利用者様が利用している施設に訪問し、施設の方との情報の共有ができた。
- ・面談の時に利用者様のニーズの把握に努め、ニーズに合った施設を探し、日数や時間数を確保できるように努力した。
- ・利用者様の問題解決に取り組む改善することが出来た。
- ・相談支援員同士で、情報の報告・共有・相談が出来た。
- ・相談員同士の信頼関係も深まり、ストレスのない職場環境になっている。

本年度の反省・課題（相談支援）

- ・令和7年の 4 月に就学・就労する利用者様が多く、3 月までに作成しなければいけない状態だった

ので、相談業務が思うように進まない時があった。

- ・問題のある利用者様に目が向きがちで、サービス担当者会議も偏ってしまい、幅広く会議を持つ時間の余裕がなかった。
- ・研修にはできるだけ参加したが、振り返りが完全ではなかった。
- ・きめ細かなサービスの提供を目指して、多くの利用者様のサービス担当者会議を開催する。
- ・研修したことがより良い相談支援につながるよう努力する。

⑥ 事務局・その他

『親の会』から始まり、『NPO 法人ハローハンディキャップ・タイム』となり、そして社会福祉法人に変わって 6 年目になろうかというところですが、当初の理念を忘れず「親なき後」の利用者の将来が安定して送れますようにしっかりと運営を続けて参りたいと思います。

本年度の成果（事務局）

- ・県監査並びに市の生活サポートの監査を、指導事項もなく、無事に終えることができた。
- ・虐待防止委員会、身体拘束適正化委員会、安全衛生委員会、感染対策委員会を継続的に開催することができ、大きな事故防止につなげることができた。
- ・BGP の改定、研修を行うことができた。また、安全委員を中心に、災害対策における訓練を各事業所が徹底して行うことができた。
- ・各種マニュアルの見直しを行った。
- ・月次の決算を行うことで経営状況の早期の把握ができるようになった。
- ・行政の補助金で、入浴介助用の備品を購入することができた。
- ・物価高の影響が懸念される中、行政の補助金を積極的に申請することで支出を補えた。
- ・求人募集に関して、ハローワークだけでなく様々なツール・媒体を通して行ったため応募者が増えた。
- ・職員へ積極的に資格取得や研修を奨め、個人が可能になったサービスの幅を増やすことができた。
- ・法人全体で絵画や工作など創作活動に力を入れ、障害者アート展「たいむぼくらのアート展」を 5 年連続で開催することができた。

本年度の反省・課題（事務局）

- ・諸規程の職員への浸透が不十分な面があるため周知徹底をし、規程に沿った運営を遵守していく。
また、諸規定の整合性を図るため、適宜見直しをして行く必要がある。
- ・新通所施設の建設に向けて進捗が留まっているので、社会情勢、財務内容も踏まえ、理事会・評議員

会での議論を進めていく。

- ・新型コロナウイルス感染症は引き続き発生するものと考え、事業所内の清掃・消毒を徹底し、感染症防止に努める。
- ・定員や利用枠が空いている状況がまだあるので、新規の利用者様の確保を模索する。
- ・寄付金の額が前年より大幅に減少してしまったため、税額控除の制度も周知すると共に、寄付金を積極的に募る。
- ・車輛の事故が前年より増加してしまったため、安全運転講習の徹底と、運転適性検査を職員に受講させ、個々の安全運転への意識を高める。
- ・職員の残業時間が高い水準で続いているため、残業時間の管理と共に、業務内容を明確化し、各事業所の業務管理を徹底する。
- ・オンラインコミュニケーションツールの利用が活発化してきたが、情報漏洩や公私混同のリスクが高まっているため、職員のネットリテラシー教育を行う必要がある。
- ・様々な事案に対し、事務局内部だけで結論を出すのではなく、顧問の社労士・税理士等のアドバイスも受け、法人運営・管理を遂行していく。
- ・地域での法人の認知度がまだ低いため、地域との連携、さまざまな団体・関係機関とのネットワークづくりを積極的に行い、障がい児・者、及び法人への理解者、支援者を増やす。

3. 令和6年度 理事会・評議員会開催実績

<理事会>

・第1回 理事会

開催日時： 令和6年6月21日（金） 10時00分～11時00分

開催場所： 久喜総合文化会館 会議室

(1) 提案事項

第1号議案 令和5年度 決算書類及び事業報告書等の承認について

： 議案の概要-別添資料の通り

第2号議案 令和6年度 事業計画の一部変更(補正予算)について

： 議案の概要-別添資料の通り

第3号議案 定時評議員会の開催日時・場所、議題及び議案の承認について

： 議案の概要-別添資料の通り

(2) 報告事項

① 埼玉県令和7年度施設整備補助事業について

- ② 赤い羽根共同募金会の助成による車輛の納車完了について
- ③ 理事長・業務執行理事の執行状況について
- (3) その他

・第2回 理事会

開催日時： 令和6年9月25日(水) 午前10時00分

開催場所： 久喜総合文化会館 会議室

(1) 提案事項

第1号議案 新施設建設予定地(久喜市磯沼)の今後の方針について

： 議案の概要-別添資料の通り

第2号議案 就業規則の改正及び1年単位の変形労働制導入について

： 議案の概要-別添資料の通り

第3号議案 給与規程の改正について

： 議案の概要-別添資料の通り

第4号議案 月次累計決算及び事業計画の一部変更(第二次補正予算)について

： 議案の概要-別添資料の通り

第5号議案 定時評議員会の開催日時・場所、議題及び議案の承認について

： 議案の概要-別添資料の通り

(2) 報告事項

① ノーマライゼーション住宅財団『バリアフリー住宅実例集』掲載について

② 理事長・業務執行理事の執行状況について

(3) その他

・第3回 理事会

開催日時： 令和6年12月17日(火) 午前10時00分

開催場所： 久喜総合文化会館 会議室

(1) 提案事項

第1号議案 月次累計決算及び事業計画の一部変更(第三次補正予算)について

： 議案の概要-別添資料の通り

第2号議案 定時評議員会の開催日時・場所、議題及び議案の承認について

： 議案の概要-別添資料の通り

(2) 報告事項

① 『ケアホーム・タイムわかば』における虐待事案について

② 重要な役割を担う職員の退任について

③ 法人及び各放課後等デイサービスの監査予定について

④ 障害福祉分野におけるロボット等導入支援事業補助金交付について

⑤ 理事長・業務執行理事の執行状況について

(3) その他

・第4回 理事会

開催日時：令和7年3月18日(火) 午前10時00分

開催場所：久喜総合文化会館 会議室

2 理事会の目的である事項

(1) 提案事項

- ・第1号議案 令和7年度事業計画(案)の承認について
：議案の概要-別添資料の通り
- ・第2号議案 常勤職員給与規程の改定について(案)
：議案の概要-別添資料の通り
- ・第3号議案 非常勤職員給与規程の改定について(案)
：議案の概要-別添資料の通り
- ・第4号議案 役員等賠償責任保険契約の件 (案)
：議案の概要-別添資料の通り
- ・第5号議案 定時評議員会の開催日時・場所、議題及び議案の承認について(案)
：議案の概要-別添資料の通り

(2) 報告事項

- ① 社会福祉施設建設にかかる今後の対応方向について
- ② 社会福祉施設等(本部及び放課後等デイサービス)指導監査の結果について
- ③ たいむ共生会の賃貸物件更新
- ④ 理事長・業務 執行理事の執行状況について

(3) その他

<評議員会>

・第1回 評議員会

開催日時：令和6年6月21日(金) 午前11時00分

開催場所：久喜総合文化会館 会議室

(1) 提案事項

- 第1号議案 令和5年度 決算書類及び事業報告書等の承認について
：議案の概要-別添資料の通り
- 第2号議案 令和6年度 事業計画の一部変更(補正予算)について
：議案の概要-別添資料の通り

(2) 報告事項

- ① 埼玉県令和7年度施設整備補助事業について
- ② 赤い羽根共同募金会の助成による車輛の納車完了について
- ③ 理事長・業務執行理事の執行状況について

(3) その他

・第2回 評議員会

開催日時：令和6年9月25日(水) 午前11時00分

開催場所： 久喜総合文化会館 会議室

2. 理事会の目的である事項

(1) 提案事項

第1号議案 就業規則の改正及び1年単位の変形労働制導入について

： 議案の概要-別添資料の通り

第2号議案 給与規程の改正について

： 議案の概要-別添資料の通り

第3号議案 月次累計決算及び事業計画の一部変更(第二次補正予算)について

： 議案の概要-別添資料の通り

(2) 報告事項

① 新施設建設予定地(久喜市磯沼)の今後の方針について

② ノーマライゼーション住宅財団『バリアフリー住宅実例集』掲載について

③ 理事長・業務執行理事の執行状況について

(3) その他

・第3回 評議員会

開催日時： 令和6年12月17日(火) 午前11時00分

開催場所： 久喜総合文化会館 会議室

(1) 提案事項

第1号議案 月次累計決算及び事業計画の一部変更(第二次補正予算)について

： 議案の概要-別添資料の通り

(2) 報告事項

① 『ケアホーム・タイムわかば』における虐待事案について

② 重要な役割を担う職員の退任について

③ 法人及び放課後等デイサービスの監査予定について

④ 障害福祉分野におけるロボット等導入支援事業補助金交付について

⑤ 理事長・業務執行理事の執行状況について

(3) その他

・第4回 評議員会

開催日時： 令和7年3月27日(木) 午前10時00分

開催場所： 久喜総合文化会館 会議室

(1) 提案事項

第1号議案 令和7年度 事業計画及び予算案承認について

： 議案の概要-別添資料の通り

(2) 報告事項

① 常勤及び非常勤職員の給与規程改正について

① 役員等賠償責任保険契約について

② 上清久磯沼の土地及び施設建設にかかる今後の対応方向について

- ③ 社会福祉施設等の運営指導(監査)の結果について
 - ④ 法人で契約中の賃貸物件更新について
 - ⑤ 理事長・業務執行理事の執行状況について
- (3) その他